

お菓子量り売り

もとやまたかいちろう
本山貴一郎

(ケイズコーポレーション)
代表取締役・平14経



あと一〇g。もうチョコは無理、ラムネにしようかな？
たくさんの子どもが秤とにらめっこしながら慎重にお菓子を吟味して袋に入れていきます。好きなお菓子を一粒一個から好きなだけ買えるお菓子量り売りは、「量る」という手間を加えることで、買う行動自体にドキドキワクワクという付加価値が生まれる不思議な販売形態です。

手掛けた当初は買手の側面からの魅力しか気づいていませんでしたが、実は売手の側面からも非常に興味深いことが分かってきました。量り売りでは全てのお菓子が個包装から解放され重さのもとに平等となるため、一般流通で重要視される一品価格やパッケージ、棚確保の営業力などが無力化されお菓子本来の魅力だけで勝負する場になるのです。

美味しいお菓子をつくることにはこだわりがあるが、それ以外の経営資源には乏しい中小メーカーでも同じ土俵に立つことができ、実際に売場でも、大手の商品より圧倒的に売れるということもあります。結果、一般流通では見かけないお菓子がたくさん並ぶ多様性が売場の魅力にもなっています。

お菓子量り売りをみかけましたら、是非「量り売り」のもつ独特の磁場に身を委ね、お菓子の持つ本来の魅力をお楽しみ下さい。